

# 国立公園多言語解説等整備事業

## 【背景】

国立公園内の案内板やビジターセンター等の展示物については主に日本語での解説となっており、外国人旅行者に国立公園の自然などの魅力が十分伝わらない。

## 【事業内容】

34国立公園における環境省・地方公共団体所有の案内板やビジターセンター等の展示物について、ICTなども活用し、外国人目線で分かりやすく魅力的な解説文を、英語・韓国語・中国語等の多言語にて整備することをさらに促進。

- ・多言語解説文付きの案内板の新設
- ・既存の案内板への多言語解説文の追加、Uni-voiceやQRコード等の貼付
- ・ビジターセンター等の展示物への多言語解説文の追加
- ・ビジターセンターの電子看板で案内する表示内容の追加

※満喫プロジェクトの先行8公園については、公園内で面的な整備を加速させるために重点的に実施。

## 【効果】

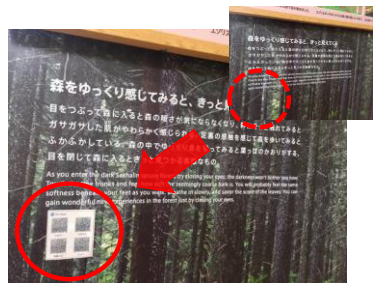
魅力的な多言語解説文が各国立公園で整備されることにより、訪日外国人の国立公園での体験満足度の向上、滞在期間の長時間化等に資する。

## 【補助事業実施スキーム】

環境省 → 中間執行団体（非営利法人） → 地方公共団体  
 （補助率：定額） （補助率：2 / 3）



日本語・英語による解説案内板



Uni-voiceコードの貼付



ビジターセンターの展示物